

第 61 回 湘南科学史懇話会 (2013 年 1 月 19 日 (土) 午後 2 時 30 分~6 時 00 分)

原発事故以降の日本社会の対応についての私見

——生命論と社会哲学の観点から——

講師：金森 修さん (哲学者、東京大学教授)

●講演概要

本来私は原発の関係者では全くなく、一介の哲学者にすぎない。本当なら、この種の主題で話すことなど、したいとは思わない。しかし原発事故後の我が国の社会の対応の仕方に、或る重大な文化的規範の破壊がみられるという印象が拭いがたく、非力を省みず、現時点で私がいいうることを述べてみたい。本質的にはきわめてナイーブな話になると思う。しかしこの種のナイーブで直截的な話をせざるを得ない時というものがあり、今がその時の一つなのだろうと思っている。(講師記)

●講師プロフィール

金森 修 (かなもり おさむ) : 1954 年札幌市生まれ。1978 年東京大学教養学部教養学科卒業、1986 年同大学大学院 人文科学研究科比較文学比較文化専攻単位所得退学、哲学博士 (パリ第一大学)。筑波大学講師、東京水産大学助教授を経て、現在、東京大学大学院教育学研究科教授。日本生命倫理学会理事、日仏哲学会理事など。著書『〈生政治〉の哲学』(ミネルヴァ書房、2010 年 3 月)、『科学思想史』(編著、勁草書房、2010 年 7 月)、『昭和前期の科学思想史』(編著、勁草書房、2011 年 10 月)、『動物に魂はあるのか』(中公新書、2012 年 8 月) ほか。<http://www.p.u-tokyo.ac.jp/~waskana/> (Home Page)

●日時：2013 年 1 月 19 日 (土) 午後 2 時 30 分~6 時 00 分

●会場：藤沢市労働会館、3 階 第 3 会議室

〒251-0053 藤沢市本町 1-12-17 0466-26-7811、小田急線「藤沢本町駅」徒歩 10 分、JR「藤沢駅」北口徒歩 15 分 <http://www.fujisawa-rodo.jp/>

●参加費：無料 (資料代 500 円)

●連絡先：猪野修治 (湘南科学史懇話会代表)

〒242-0023 大和市渋谷 3-4-1 TEL/FAX 046-269-8210 shujiino@js6.so-net.ne.jp
湘南科学史懇話会 <http://www008.upp.so-net.ne.jp/shonan/home.htm>